

# サステナブルファイナンス有識者会議 第三次報告書 -サステナブルファイナンスの深化-

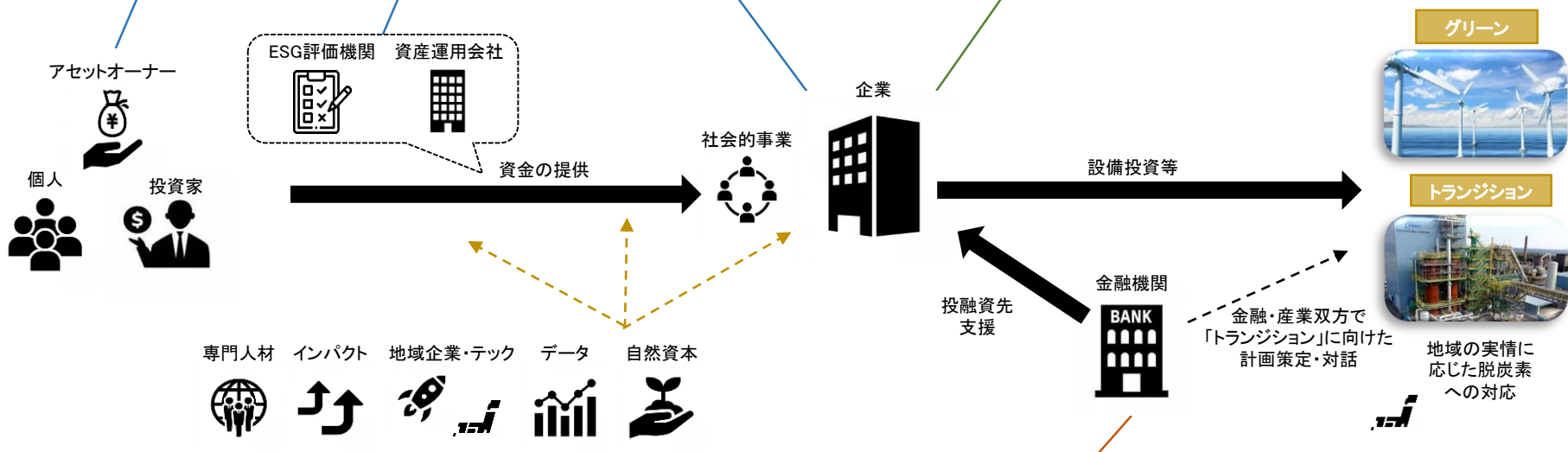
- 金融庁「サステナブルファイナンス有識者会議」では、**新たな産業・社会構造への転換を促し、持続可能な社会を実現するための金融（サステナブルファイナンス）を推進**を図る施策につき継続的に議論を進めている。2023年6月には、直近1年間の施策の状況と今後の課題・施策を以下のとおり「有識者会議報告書」として取りまとめ、公表

## (2) 市場機能の発揮

- 排出量等の企業データの策定を支援し、**プラットフォーム等を通じた企業データの集約・提供の推進**。併せて、専門的な**気候変動関連の気象データ等の利活用推進**に向けた環境整備
- アセットオーナー・アセットマネージャー**のESG投資等の知見共有・対話の有効性向上
- 監督指針を改正し**ESG投信の検証項目を明確化**(2023年3月)、個人が投資しやすいESG投信の拡充
- ESG評価機関の**行動規範を最終化**(2022年12月)、2023年6月末時点の賛同状況の取りまとめ
- カーボンプレジットの取引拡大**に向けた市場整備・クレジット創出支援の推進等

## (1) 企業開示の充実

- ISSBの**サステナビリティ開示基準等の国際的議論に積極的に参画**し、官民連携してわが国の意見を集約・発信
- サステナビリティ情報の記載欄**を2023年3月期決算より新設。更に、SSBJで策定が予定されている開示基準の法定開示への取り込みを検討。併せて、サステナビリティ情報に関する開示の好事例集の収集・公表や保証のあり方を検討



## (4) その他の横断的課題

- 基本的指針案の公表(2023年6月)、コンソーシアムを通じた知見の共有など、**インパクト投資の推進**
- 地域の気候変動対応**の面的な推進(協議会の設置支援、データ整備等)
- 自然資本(**生物多様性**)にかかる議論の展開
- 業界団体・大学・民間事業者等との連携強化を通じた**人材育成**の推進

## (3) 金融機関の投融資先支援とリスク管理

- 国際的な議論等の進展を踏まえ、**シナリオ分析**の手法・枠組みの継続的な改善
- ネットゼロを目指す金融機関向けの**提言(ガイド)**を策定(2023年6月)。トランジション推進の**エンゲージメント強化**、**サプライチェーンCO2排出量の見える化**等を国内外で浸透
- アジアGXコンソーシアム(仮称)による**アジアでの脱炭素推進**

有識者会議として、今後も随時、サステナブルファイナンスの施策の全体像・進捗状況等をフォローアップ・取りまとめ、発信

# サステナブルファイナンスの取組みの全体像（進捗と課題）

2022年7月～2023年6月

2023年7月～12月

開示の充実

有価証券報告書に気候変動対応や人的資本等のサステナビリティ情報の記載欄を新設し、23年3月期より適用開始

サステナビリティ基準委員会 (SSBJ) で基準開発。併せて、サステナビリティ情報に関する開示の好事例集の収集・公表の促進等を検討

国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) における基準開発等の国際的な議論に積極的に参画し、官民連携してわが国の意見を集約・発信  
サステナビリティ情報の保証のあり方について、前提となる開示基準の策定や国内外の動向を踏まえて議論

市場機能の発揮

情報・データ  
基盤整備

排出量等の企業データの策定を支援し、企業開示データをプラットフォーム等を通じ集約し、分かり易く提供  
関係省庁と連携した事業会社との意見交換等を通じ、専門的な気候変動関連の気象データ等の利活用推進に向けた環境整備

機関投資家

機関投資家が企業の持続可能性の向上に向けた取組みに着目し、受託資産の価値向上を図っていくための課題を把握。各機関投資家の特性も踏まえつつ、機関投資家におけるESG投資等の知見共有、対話の有効性向上に向けて議論

個人の  
投資機会

監督指針を改正しESG投信の検証項目を明確化

個人が投資し易いESG投信の拡充や浸透について方策を検討

ESG評価  
データ機関

最終化された行動規範への賛同を呼びかけ。「ESG評価機関」について、23年6月末時点の賛同状況を取りまとめ

「ESGデータ提供機関」について、賛同を呼びかけ・取りまとめ各機関の開示状況等を踏まえた実効性確保のあり方を検討

CC市場

カーボンプレジットにかかる金融業法上の整理、市場整備の実証実験等

取引拡大に向けた市場整備・クレジット創出支援の推進

金融機関の  
融資・リスク管理  
支援と

シナリオ分析

シナリオ分析のパイロットエクササイズ結果公表(8月)

シナリオ分析の手法・枠組みの継続的な改善

脱炭素

脱炭素等に向けた金融機関等の取組みに関する検討会報告書として、ネットゼロに取り組む金融機関への提言(ガイド)を公表(6月)

トランジション推進の金融機関におけるエンゲージメント強化  
本邦の経験を踏まえたトランジションの国際発信・浸透

「アジアGXコンソーシアム」を立ち上げアジアのGXを推進

アジアGX

地域金融機関や中堅・中小企業への支援の拡充・浸透

その他の横断的課題

インパクト

インパクト投資等に関する検討会の報告書を公表(6月)報告書で、インパクト投資の「基本的指針」案を提示

基本的指針案に係る多様な関係者との対話と基本的指針の最終化  
インパクト投資の「コンソーシアム」の立ち上げ  
官民金融機関、様々な企業、地域関係者等と連携した事例創出・共有

地域脱炭素

GXに係る地域計画・協議体設置等の支援、地域事業者への補助事業の拡充と地域金融機関等を通じた浸透、財務局等を通じた金融機関同士の連携強化など、地域の面的対応支援・推進

生物多様性

生物多様性について国際的議論も踏まえ、金融への影響や金融の役割について議論

専門人材

「サステナブルファイナンススキルマップ」の公表、金融機関向け人材育成アンケート

業界団体・民間事業者等による資格・研修等や大学での実践的講義の推進等を通じた、実務的人材の育成  
若年層を含む幅広い個人等へのサステナブルファイナンスの浸透